

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月1日

福岡県知事 殿

提出者

住 所 大牟田市新勝立町1丁目38番地1
オーム乳業株式会社

氏 名 代表取締役社長 伊與田 良一
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0944-52-8282

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 オーム乳業株式会社

事業場の所在地 大牟田市新勝立町1丁目38番地1

計画期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日

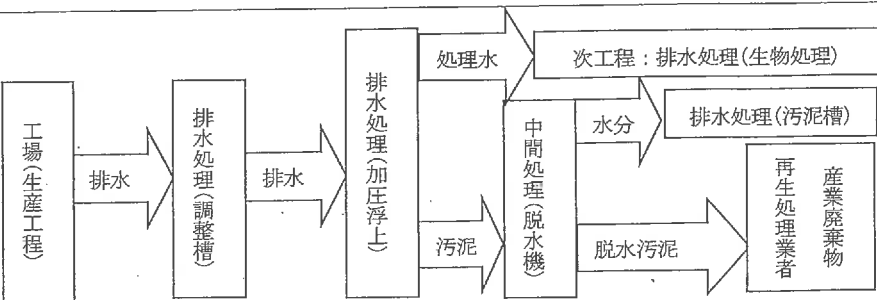
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 処理牛乳・乳飲料製造業【0913】

②事業の規模 出荷額 387千万円

③従業員数 81人

④産業廃棄物の一連の処理の工程

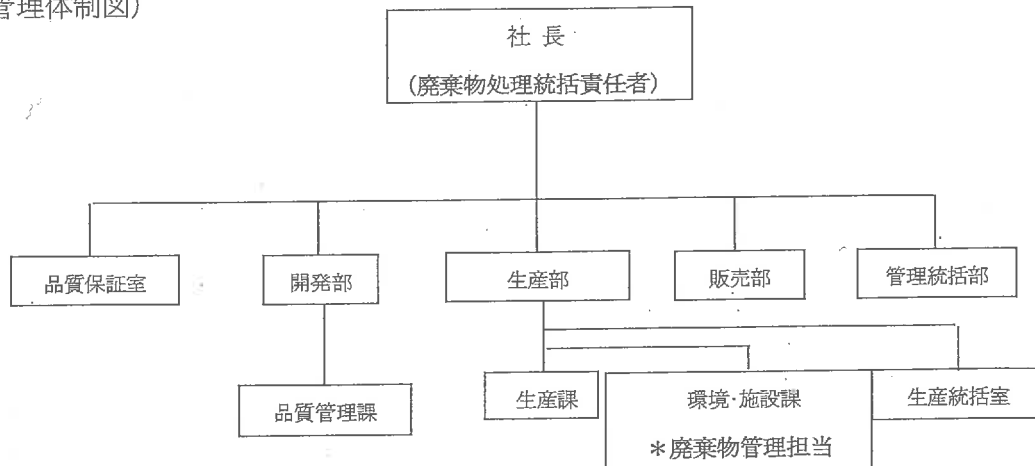


(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

②現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	汚泥(廃乳-液状)
	排出量	14,154.5 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 排水処理における活性汚泥のバルキング抑制への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組。 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 製品の賞味期限延長への取組。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	汚泥(廃乳-液状)
	排出量	13,000.00 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別不可能な物はないので分別して再生利用業者へ委託する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 積極的に分別し再生利用業者へ委託する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	廃油(機械潤滑油)
	排 出 量	32.02 t	0.4 t
	(これまでに実施した取組) 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 製品の賞味期限延長への取組。 物性異常及び細菌的な出荷停止に対する原因追及のスピードアップ化への取組。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	廃油(機械潤滑油)
	排 出 量	30 t	0.25 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属屑(18L原料缶)	混合廃棄物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)
	排 出 量	0 t	2.35 t
	(これまでに実施した取組) 18L原料缶の有価物化(売却) 5R活動への取り組み。 リサイクル化への取組		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑(18L原料缶)	混合廃棄物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)
	排 出 量	0 t	2.0 t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

① 現状

【前年度（令和5年度）実績】

産業廃棄物の種類

ガラスくず(びん類)

紙くず類
(空調フィルター)

排 出 量

0 t

0 t

(これまでに実施した取組)
びん詰製品の終売に伴い、びん類の排出量は無くなった。
5R活動への取り組み。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

ガラス屑(びん類)

紙くず類
(空調フィルター)

排 出 量

0 t

0.5 t

(今後実施する予定の取組)
紙くず類(空調フィルター)：定期交換が必要な為に削減出来ない。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

②計画

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず(タイル)	
	排 出 量	0 t	
	(これまでに実施した取組) 老朽化取替工事で発生するので取組が難しい。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず(タイル)	
	排 出 量	2.0 t	
	(今後実施する予定の取組) 老朽化取替工事で発生するので取組が難しい。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	
②計画	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	13,178.06 t	t
	(これまでに実施した取組) 凝集剤適正使用による凝集状態の管理による含水率の維持及び低減。 脱水機維持管理による安定稼働。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-未脱水)	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	12,080.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) 前年度実施した取組を本年度も継続して取り組む。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-脱水)	汚泥(廃乳-液状)
	全 処 理 委 託 量	941.29 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	941.29 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 凝集剤適正使用による凝集状態の管理。 脱水機維持管理による安定稼働。 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 生産工程発生ロス削減への取組(歩留向上)。 賞味期限延長への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	金属屑(18L原料缶)
	全 処 理 委 託 量	32.02 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 生産工程発生ロス削減への取組(歩留向上)。 賞味期限延長への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組 18L原料缶の有価物化(売却)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	混合物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)	ガラスくず (ビン類)
	全 処 理 委 託 量	2.35 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 5 R活動への取り組み。 金属類の分別を行い有価物化（売却）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	紙くず類 (空調フィルター)	陶磁器くず (タイル)
	全 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 老朽化による取り替えで発生しているので取り組みしていない。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(排水処理-脱水)	汚泥(磨乳-液状)
	全処理委託量	920.00 t	0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 凝集剤適正使用による凝集状態の管理。 脱水機維持管理による安定稼動。 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 生産工程発生ロス削減への取組(歩留向上)。 賞味期限延長への取組。 生産工程で発生する廃棄分の回収再利用への取組。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残差(廃棄製品)	廃油(機械潤滑油)
	全処理委託量	30.0 t	0.25 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 生産ミス・トラブル撲滅活動の推進。 製品の賞味期限延長への取組。 物性異常及び細菌的な出荷停止に対する原因追及のスピードアップ 化への取組。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属屑(18L原料缶)	混合廃棄物 (廃プラ・金属屑・ガラス屑等)
	全処理委託量	0 t	2.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 5R活動への取り組み。 リサイクル化への取り組み		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず(びん類)	紙くず類 (空調フィルター)
	全処理委託量	0 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 瓶詰め製品の終売に伴い、瓶類の排出量は無くなった。 紙屑類(空調フィルター): 定期交換が必要な為に削減出来ない。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	陶磁器くず(タイル)	
	全処理委託量	2 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	
	再生利用業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	
	(今後実施する予定の取組) 老朽化取替工事で発生するので取組が難しい。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。